

### 3 各都市像別の分析と取組

以下では、都市像ごとに、財務情報の分析と主な取組みを紹介しています。

#### (1) 都市像別の有形固定資産及び行政コストの割合

荒川区では、概ね 20 年後の将来像として「幸福実感都市あらかわ」を掲げ、平成 18 年度に荒川区基本構想（以下「基本構想」という。）を策定し、平成 29 年度には基本計画の見直しを行いました。

以下では、「基本構想」で定めた都市像ごとに、行政コスト財務情報のほか、行政評価システムで測定している区民サービス指標等を掲載しています。

都市像	目指す方向性
①生涯健康都市	区民一人一人が、生涯にわたって心身ともに健康で生き生きと過ごせるまちを目指します。また、高齢者や障がい者を含め、誰もが安心して暮らせる活気ある地域社会を目指します。
②子育て教育都市	子育て環境の充実を図り、子育て世代が働きやすく、安心して子どもを生子、育てられるまちを目指します。また、心豊かにたくましく学び、生きる子どもを、地域社会全体で育むとともに、生涯にわたって学ぶことができるまちを目指します。
③産業革新都市	モノづくり産業を中心とした区内の産業集積を生かしつつ、社会経済状況の変化を踏まえた産業構造の転換への対応や、新産業の創出を支援するとともに、商業の進行を図り、地域経済が持続的に発展するまちを目指します。また、区内の観光資源を積極的に情報発信することにより、人を引き付ける魅力あるまちを目指します。
④環境先進都市	地球環境を守るため、内外から注目される先進的な地球温暖化・ヒートアイランド対策を、地域ぐるみで積極的に推進するまちを目指します。また、隅田川や公園など、水と緑に恵まれた良好な居住環境や美しい街並みを大切にした景観の形成に配慮したまちを目指します。

⑤文化創造都市	伝統文化の継承と新しい文化の創造とが調和している多彩なまちを目指します。また、あらかわのまちに息づく連帯感や助け合いの心、下町らしい人情味あふれるコミュニティを最大限に生かして、地域の連携と協働が活発に行われるまちを目指します。
⑥安全安心都市	都市基盤の整備を着実に進めるとともに、地域コミュニティが機能している荒川区の強みを最大限に生かし、ハード、ソフトの両面から、災害に強い安全なまちを目指します。また、地域ぐるみでの防犯活動や交通安全対策を通じて、犯罪や事故のない安心して暮らせるまちを目指します。
⑦計画推進のために	上記6つの都市像の実現に向け、区民参画・協働の推進や区政に関する情報提供の拡充を図るとともに、健全な財政運営や職員育成の充実などに努め、区民に信頼される質の高い区政を推進していきます。

※ 行政評価で対象としている事務事業を集計しているため、一般会計財務諸表、各特別会計財務諸表の合計とは一致しません。

### I 生涯健康都市

#### 生涯健康で生き生きと生活できる まちの実現

- 親子の健康推進【再掲】
- 児童生徒の健康づくりと体力向上【再掲】
- 青壮年期の健康増進
- 介護予防の推進【再掲】
- 高齢者の社会参加の促進【再掲】
- スポーツの推進【再掲】
- 健康危機管理体制の整備
- 地域医療の充実
- 健康を支える保険・医療体制の適正な運営

#### 高齢者や障がい者が 安心して暮らせる社会の形成

- 高齢者の社会参加の促進
- 介護予防の推進
- 高齢者の在宅生活の支援
- 介護サービス基盤の充実
- 高齢者の住まいの確保
- 在宅医療・介護の連携推進
- 障がい者の相談・支援体制の充実
- 障がい者の住まい・日常生活に対する支援
- 障がい者の就労支援・生きがいの創生
- 障がいのある子どもの健全育成
- バリアフリーの推進
- 低所得者の自立支援
- 福祉の基盤整備

### II 子育て教育都市

#### 子育てしやすいまちの形成

- 多様な子育て支援の展開
- 保育・幼児教育の環境整備と質の向上
- 子どもの貧困対策とひとり親家庭等への支援
- 児童相談所の設置及び円滑な運営
- 親子の健康推進
- 小児医療の充実

#### 心豊かにたくましく生きる子どもの 育成と生涯学習社会の形成

- 確かな学力の定着・向上
- 創意と工夫にあふれた教育の推進
- 体験学習等の推進
- 児童生徒の健康づくりと体力向上
- 魅力ある教師の育成
- 学校施設等の整備
- 小中学校・幼稚園の運営
- 余暇を利用した学習機会の提供
- 地域と連携した学校づくり
- 子どもの健全育成
- 家庭教育の支援と地域教育力の向上
- 生涯学習活動の支援
- 地域文化とコミュニティの拠点づくり【再掲】

### III 産業革新都市

#### 活力ある地域経済づくり

- 産業基盤の整備・充実
- 創業・新事業創出の支援
- 企業経営革新の支援
- 活気あふれる商店街づくり
- 魅力あふれる個店づくり
- 就労・人材確保の支援
- 消費生活の安全安心の確保

#### 人が集う魅力あるまちの形成

- 観光資源の発掘とにぎわいの創出
- 受入体制の充実と観光情報の発信

# 幸福実感都市 あらかわ

## IV 環境先進都市

### 地球環境を守るまちの実現

- 温暖化対策の推進
- 資源循環型社会の形成
- ごみの適正処理の推進

### 良好で快適な生活環境の形成

- 緑とうるおい豊かな生活環境づくり
- 快適な居住環境の形成
- 快適な生活道路の整備
- まちの美化の推進
- バリアフリーの推進【再掲】

## V 文化創造都市

### 伝統文化の継承と都市間交流の推進

- 芸術文化の振興
- 国内・海外都市との交流の推進
- 伝統的文化の保存と継承

### 活気ある地域コミュニティの形成

- 地域活動の支援と人材育成
- 地域文化とコミュニティの拠点づくり
- 「読書のまちづくり」の推進
- スポーツの推進
- 青少年健全育成運動への支援
- 人権・平和の普及啓発

## VI 安全安心都市

### 防災・防犯のまちづくり

- 災害時における体制の強化
- 防災基盤の整備
- 災害に強い街づくりの推進
- 犯罪をゆるさないまちづくりの推進
- 交通安全対策の推進

### 利便性の高い都市基盤の整備

- 快適な市街地環境への誘導
- 都市計画道路の整備
- 交通環境の整備
- 市街地再開発事業等の推進

## VII 計画推進のために

### 区民の主体的な区政参画と連携強化

- 区民参画・協働の推進
- 広聴機能の充実
- 選挙の執行
- 議会運営

### 積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進

- 区政に関する情報提供の拡充
- 窓口サービス等の充実
- 事務の適正・公正な執行
- 統計・調査の推進
- 各種団体等との円滑な連携
- 監査機能の充実
- 事務の共同処理

### 目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進

- 戦略的な政策形成と行政改革の推進
- 健全な財政運営
- 税収の安定的な確保
- 人材の活用と職員育成の充実
- 情報システムの適正な整備と安全確保
- 公共施設等の効率的な活用と適正な管理

凡例

政策

重点施策

通常の施策

### ① 有形固定資産の都市像別割合

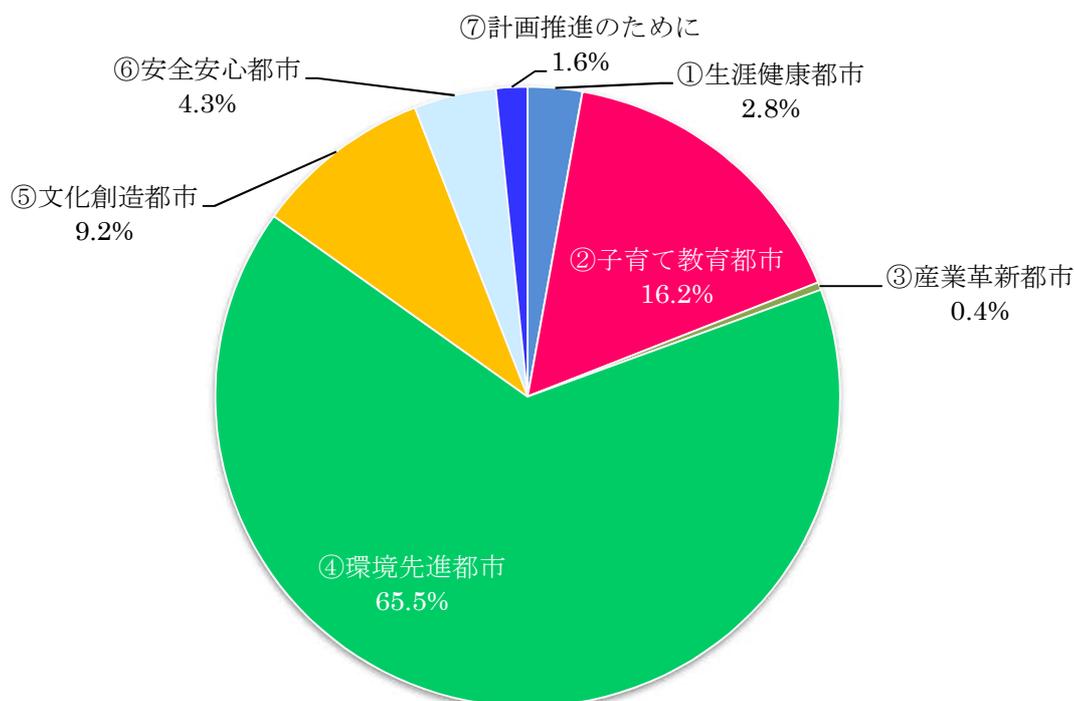
有形固定資産の都市像別割合をみることにより、都市像別の公共資産形成の比重を把握することができます。荒川区では、道路や公園が含まれる「環境先進都市」の割合が65.5%と最も高く、保育園や小学校が含まれる「子育て教育都市」の16.2%と合わせると81.7%になります。対して、区内事業者等への融資や観光事業が中心の「産業革新都市」は、所有している施設等が少ないため、割合としては0%に近くなっています。荒川区の資産整備は、道路や公園などのインフラ整備、小中学校などの教育施設の整備を中心に行ってきたことが分かります。

### <有形固定資産の都市像別割合>

(単位：百万円)

都市像	令和元年度		令和2年度		差額	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
① 生涯健康都市	10,090	3.0%	9,867	2.8%	-223	-0.2%
② 子育て教育都市	53,982	15.8%	56,594	16.2%	2,612	0.4%
③ 産業革新都市	305	0.1%	1,404	0.4%	1,099	0.3%
④ 環境先進都市	228,051	66.2%	229,190	65.5%	1,139	-0.7%
⑤ 文化創造都市	31,638	9.3%	32,270	9.2%	632	-0.1%
⑥ 安全安心都市	13,956	4.1%	14,900	4.3%	944	0.2%
⑦ 計画推進のために	5,249	1.5%	5,683	1.6%	434	0.1%
有形固定資産合計	343,271	100.0%	349,908	100.0%	6,637	-

【有形固定資産の都市像別割合（令和2年度）】



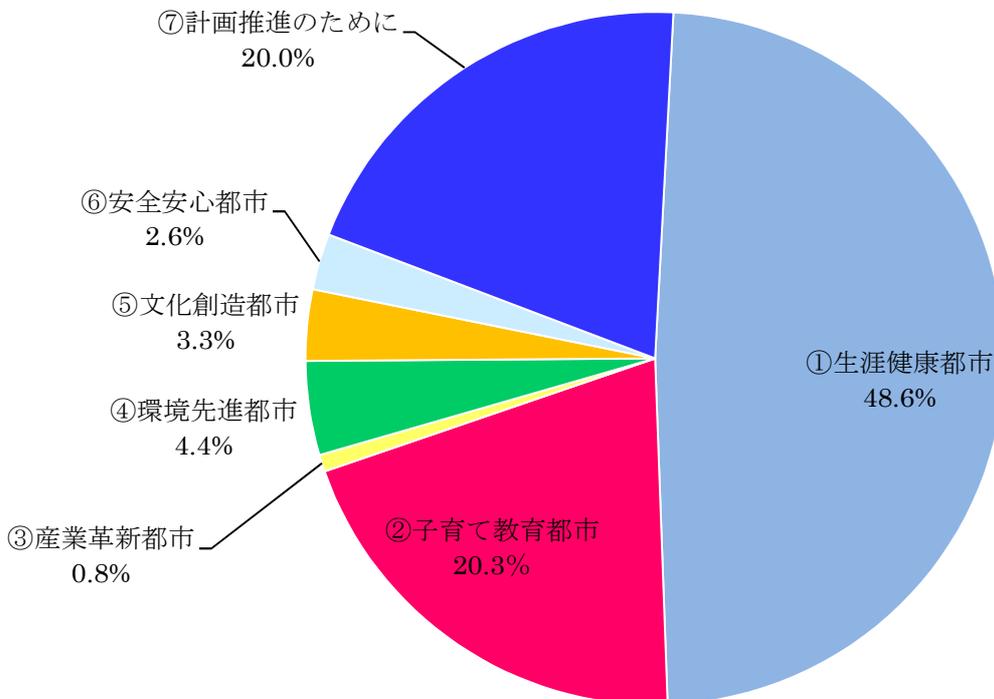
② 行政コストの都市像別割合

行政コストの都市像別割合をみることにより、都市像ごとの行政サービスを提供するために消費したコストの比重を把握することができます。令和2年度は、特別定額給付金を支給したことで、⑦「計画推進のために」の行政コストが大幅に増加し、構成比が令和元年度と比較して大きく上昇しています。この影響により、健康、福祉分野にあたる①「生涯健康都市」の構成比が令和元年度と比較して大きく減少しています。

(単位：百万円)

都市像	令和元年度		令和2年度		差額	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
① 生涯健康都市	68,963	59.3%	69,086	48.6%	123	-10.7%
② 子育て教育都市	26,912	23.1%	28,768	20.3%	1,856	-2.8%
③ 産業革新都市	923	0.8%	1,122	0.8%	199	0.0%
④ 環境先進都市	5,846	5.0%	6,227	4.4%	381	-0.6%
⑤ 文化創造都市	4,388	3.8%	4,723	3.3%	335	-0.5%
⑥ 安全安心都市	3,469	3.0%	3,717	2.6%	248	-0.4%
⑦ 計画推進のために	5,796	5.0%	28,450	20.0%	22,654	15.0%
行政コスト合計	116,297	100.0%	142,093	100.0%	25,796	-

【行政コストの都市像別割合（令和2年度）】



(2) 各都市像別の財務データ分析と取組状況

① 生涯健康都市

この都市像には、高齢者福祉や障がい者福祉、生活保護等の福祉分野と、感染症や生活習慣病等の予防や食の安全といった健康分野の事業が含まれています。

<財務情報の説明>

【有形固定資産】

(単位：百万円)

区分	令和元年度	令和2年度
政策 01 生涯健康で生き生きと生活できるまちの実現	0	0
政策 02 高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成	10,090	9,867
有形固定資産合計	10,090	9,867

【行政コスト】

(単位：百万円)

区分	令和元年度	令和2年度
政策 01 生涯健康で生き生きと生活できるまちの実現	29,678	30,509
政策 02 高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成	39,285	38,577
行政コスト合計	68,963	69,086

- 「生涯健康で生き生きと生活できるまちの実現」では、国民健康保険等への医療給付や新型コロナウイルス感染症対策の補助事業による補助費が行政コストの約9割を占めています。
- 「高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成」では高齢者や障がい者、低所得者への支援を行っており、約5割を主に低所得者の生活や住宅・医療に対する手当等の扶助費が、約4割を主に介護サービス給付費等の補助費が占めています。

<令和2年度の主な取組>

- 荒川区がん予防・健康づくりセンターにおいてがん検診を実施したことにより、がんを早期に発見し、区民の死亡率減少を図りました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、医療従事者・医療機関に対する手当や補助金の支給、施設整備にかかった費用の補助などを行いました。
- フレイル予防や、低栄養防止・口腔保健の向上等を目的とした講座を開催するとともに、認知機能の向上や引きこもり・孤立化防止を目的とした事業などを実施しました。

<主な成果指標>

指標	令和2年度	令和3年度 (見込み)	令和8年度 (目標値)
健康状態がよいと感じる区民の割合 (%)	—	45.0	45.0
要介護等認定者出現率(65歳～74歳) (%)	5.01	5.13	4.9
要介護等認定者出現率(75歳以上) (%)	31.85	32.6	31.9

② 子育て教育都市

この都市像には、保育園整備や子どもの健康に関わる子育て支援分野と、学校教育や生涯学習といった教育分野の事業が含まれています。

<財務情報の説明>

【有形固定資産】

(単位:百万円)

区分	令和元年度	令和2年度
政策 03 子育てしやすいまちの形成	13,527	16,361
政策 04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成	40,456	40,233
有形固定資産合計	53,983	56,594

【行政コスト】

(単位:百万円)

区分	令和元年度	令和2年度
政策 03 子育てしやすいまちの形成	20,659	22,188
政策 04 心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成	6,253	6,580
行政コスト合計	26,912	28,768

- 「子育てしやすいまちの形成」では、保育所の整備を始め、様々な子育て支援事業が行われており、児童手当や、私立保育園等の運営費などにあたる扶助費が約5割を占めています。
- 「心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成」では、充実した学校教育の実施とともに、生涯学習活動の支援を行っており、そのうち約5割を学校教育関連の委託料等の物件費が占めています。

<令和2年度の主な取組>

- 令和2年4月に荒川区子ども家庭総合センターを開設し、7月から児童相談所業務を開始しました。開設に当たっては、経験豊富な職員の配置及び国基準を上回る専門職員の配置により、きめ細やかな相談体制を構築しました。  
また、保育従事及び私立幼稚園等職員用の宿舍の借り上げを行う事業者に対し、区が経費の一部を補助することにより、保育士及び幼稚園教諭の人材確保と離職防止を図りました。
- 学びの基礎となる算数と国語について、小学校1・2年生を対象に、チームティーチングにより、一人ひとりの子どもの状況に応じたきめ細かい指導を実施しました。  
さらに、国際化に対応し、英語による実践的なコミュニケーション能力を身に付けられるよう、小学校1～4年生において週1時間、5・6年生において週2時間、英語の授業を実施しました。また、全小・中学校に外国人英語指導員を配置し、児童・生徒が外国人英語指導員と日常生活の中で会話する機会を増やすことにより、英語によるコミュニケーション能力の向上を図り、総合的な英語力を育成しました。

<主な成果指標>

指 標	令和2年度	令和3年度 (見込み)	令和8年度 (目標値)
保育所待機児童数(人)	28	21	0
区学力調査 区と全国の平均正答率との差 (小6国語 活用)(ポイント)	+4.0	+3.8	+5.0
区学力調査 区と全国の平均正答率との差 (小6算数 活用)(ポイント)	+7.2	+4.8	+7.2
区学力調査 区と全国の平均正答率との差 (中3国語 活用)(ポイント)	+2.5	+0.3	+2.5
区学力調査 区と全国の平均正答率との差 (中3数学 活用)(ポイント)	+1.5	-1.0	+3.0
区学力調査 区と全国の平均正答率との差 (中3英語 活用)(ポイント)	+3.5	-0.7	+3.5

③ 産業革新都市

この都市像には、区内産業の発展や地域経済の活性化に関わる産業・観光分野の事業が含まれています。

<財務情報の説明>

【有形固定資産】

(単位：百万円)

区分	令和元年度	令和2年度
政策 05 活力ある地域経済づくり	302	1,402
政策 06 人が集う魅力あるまちの形成	3	3
有形固定資産合計	305	1,405

【行政コスト】

(単位：百万円)

区分	令和元年度	令和2年度
政策 05 活力ある地域経済づくり	786	1,051
政策 06 人が集う魅力あるまちの形成	137	71
行政コスト合計	923	1,122

- 「活力ある地域経済づくり」では、創業支援や就労支援を行っており、令和2年度に荒川区立日暮里地域活性化施設（ふらっとにっぽり）が竣工したことで有形固定資産が増加し、工事管理費や施設管理費等の物件費の増加によって行政コストが大幅に増加しました。
- 「人が集う魅力あるまちの形成」では、観光振興事業を行っており、新型コロナウイルス感染症の影響で観光イベント支援事業の支出が減ったことにより、行政コストが減少しました。

<令和2年度の主な取組>

- 日暮里区民事務所の建替えに伴い、区の産業及び観光資源である日暮里繊維街の特性を活かし、地域の産業振興に寄与することを目的とした、荒川区立日暮里地域活性化施設（ふらっとにっぽり）を開設しました。来訪者の利便性の向上、区内における創業支援等の充実を図りました。
- 厳しい経営環境にある区内中小企業に対し、経営の安定、活性化及び事業承継をより一層推進するため、新型コロナウイルス対策特別融資をはじめとする各種制度融資により、融資借受に伴う金利や信用保証料の負担軽減を図りました。また、若年者、女性、高齢者を中心とした就労支援セミナー等の開催をはじめ、足立公共職業安定所（ハローワーク足立）などと緊密に連携し、引き続きJOBコーナー町屋の運営を行いました。

<主な成果指標>

指標	令和2年度	令和3年度 (見込み)	令和8年度 (目標値)
融資実行件数(件)	1,505	1,000	900
JOBコーナー町屋における就職者数(人)	298	500	730
観光イベント入場者数(人) ※オンライン実施イベントは除く	2,000	21,000	146,000

#### ④ 環境先進都市

この都市像には、リサイクルや地球温暖化に関わる環境・清掃分野と、公園整備といった生活環境分野の事業が含まれています。

#### <財務情報の説明>

##### 【有形固定資産】

(単位：百万円)

区分	令和元年度	令和2年度
政策07 地球環境を守るまちの実現	3,071	3,023
政策08 良好で快適な生活環境の形成	224,980	226,167
有形固定資産合計	228,051	229,190

##### 【行政コスト】

(単位：百万円)

区分	令和元年度	令和2年度
政策07 地球環境を守るまちの実現	3,353	3,454
政策08 良好で快適な生活環境の形成	2,493	2,773
行政コスト合計	5,846	6,227

- 「地球環境を守るまちの実現」では、地球温暖化対策や資源回収事業を行っており、そのうち約4割をごみの収集運搬等に係る物件費が、約3割を清掃一部事務組合に拠出する分担金にあたる補助費が占めています。
- 「良好で快適な生活環境の形成」では、約3割を公園や児童遊園の管理に係る経費や区営住宅の運営に係る経費にあたる物件費が占めています。

#### <令和2年度の主な取組>

- 集団回収を実施する団体に対する報奨金の支給、集団回収を実施する町会に対する回収支援金の支給、持ち去り対策用物品購入補助金の支給など、支援策を継続するとともに、パトロール等を実施し、資源の持ち去り対策を強化しました。
- 宮前公園では、3,000㎡の芝生広場やバラを中心としたガーデンエリア、更にバリアフリーに対応したトイレ等を整備した上で令和3年4月に開園しました。また、花による潤いと安らぎの空間を創出するため、街なかに花壇を設置し、区民が主体となった花壇の維持管理活動を支援しました。

#### <主な成果指標>

指標	令和2年度	令和3年度 (見込み)	令和8年度 (目標値)
区施設温室効果ガス排出量(百トン/年-CO2)	128	123	94
区民1人1日当たりの総排出量(㌦)*	809	803	800
公園・児童遊園面積(ha)	44.8	45.3	48.0
街なか花壇の数(か所)	94	99	152

\*総排出量＝総ごみ排出量＋資源回収量

⑤ 文化創造都市

この都市像には、伝統文化や都市間交流、読書、スポーツといった文化・コミュニティ分野の事業が含まれています。

<財務情報の説明>

【有形固定資産】

(単位：百万円)

区分	令和元年度	令和2年度
政策 09 伝統文化の継承と都市間交流の推進	3,630	3,486
政策 10 活力ある地域コミュニティの形成	28,008	28,784
有形固定資産合計	31,638	32,270

【行政コスト】

(単位：百万円)

区分	令和元年度	令和2年度
政策 09 伝統文化の継承と都市間交流の推進	939	920
政策 10 活力ある地域コミュニティの形成	3,449	3,802
行政コスト合計	4,388	4,722

- 「伝統文化の継承と都市間交流の推進」では、伝統工芸技術の保存継承支援や交流都市等との都市間交流を行っており、イベント経費や文化施設の指定管理料といった物件費が約4割を占めています。
- 「活力ある地域コミュニティの形成」では、「ゆいの森あらかわ」の施設維持管理に要する委託料や区民施設の指定管理料を含む物件費が約5割を占めています。また、河川敷グラウンドにおける台風被害の復旧のための維持補修費などの行政コストが増加しました。

<令和2年度の主な取組>

- 区の文化財である伝統工芸技術の保護・継承の促進を図るとともに、荒川ふるさと文化館において、新型コロナウイルス感染症拡大により来館できない方に対し、ウェブ上での展示会の開催や、SNS等を活用した区の伝統工芸に関する情報の発信など、区内外に向け、広くPRを行いました。
- ゆいの森あらかわの各機能を有機的に連携させた事業を通じて、区民の生涯学習や子育て支援はもとより、コミュニティ活動の拠点施設として運営を行い、地域の文化とコミュニティの醸成を図りました。また、区内初となる公園内図書館を開館したほか、各地域図書館がそれぞれの特性を生かした図書館の魅力を高める企画・運営を行いました。

<主な成果指標>

指標	令和2年度	令和3年度 (見込み)	令和8年度 (目標値)
国内交流都市との連携事業数(事業)	12	40	30
ふるさと文化館利用者数(人)	14,178	17,500	24,500
区民一人あたり総貸出点数(点)	7.5	9.4	10.0

⑥ 安全安心都市

この都市像には、防災・防犯分野と、再開発や交通といったまちづくり分野の事業が含まれています。

<財務情報の説明>

【有形固定資産】

(単位：百万円)

区分	令和元年度	令和2年度
政策 11 防災・防犯のまちづくり	7,860	8,290
政策 12 利便性の高い都市基盤の整備	6,096	6,609
有形固定資産合計	13,956	14,899

【行政コスト】

(単位：百万円)

区分	令和元年度	令和2年度
政策 11 防災・防犯のまちづくり	2,682	2,898
政策 12 利便性の高い都市基盤の整備	787	819
行政コスト合計	3,469	3,717

- 「防災・防犯のまちづくり」では、老朽木造住宅の建替えや除却、災害対策、犯罪抑止の事業を行っており、不燃化特区推進事業に係る委託料やパトロール業務の委託料を含む物件費が約3割を占めています。
- 「利便性の高い都市基盤の整備」では、道路等の都市施設の整備やコミュニティバス運営、放置自転車対策等の事業を行っており、都市計画道路 193 号線の建物等調査・補償額算定業務委託及び自転車駐車場管理の指定管理料を含む物件費が約3割を占めています。

<令和2年度の主な取組>

- 不燃化特区である「荒川二・四・七丁目地区」及び「町屋・尾久地区」において、老朽建築物の建替えや除却による地域の不燃化を促進するとともに、公園・広場等のオープンスペースの整備、主要生活道路の拡幅整備、都市計画道路整備等を重点的かつ集中的に取り組み、燃えない・燃え広がらない災害に強い街づくりを推進しました。また、不燃化特区事業の5年間の延伸と荒川一・三丁目、南千住一・五丁目に区域拡大を行いました。
- 都市計画道路用地の取得を円滑かつ正確に行うために、土地鑑定評価や物件調査・算定等を行うとともに、放置自転車対策として、自転車を駐車するための施設を整備し、区と指定管理者それぞれにおいて、効率的・効果的な管理運営を行いました。

<主な成果指標>

指標	令和2年度	令和3年度 (見込み)	令和8年度 (目標値)
不燃領域率(荒川二・四・七丁目地区)(%)	68.5	69.5	70.0
不燃領域率(荒川・南千住地区)(%)	—	65.0	70.0
不燃領域率(町屋・尾久地区)(%)	63.6	64.8	70.0
食料や飲料水を備蓄している人の割合(%)	67	—	80.0
放置自転車台数(台)	608	450	350

⑦ 計画推進のために

議会や選挙、総務、広報、窓口サービス、財政といった分野の事業が含まれています。

<財務情報の説明>

【有形固定資産】

(単位：百万円)

区分	令和元年度	令和2年度
政策 13 区民の主体的な区政参画と連携強化	0	0
政策 14 積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進	757	1,178
政策 15 目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進	4,492	4,505
有形固定資産合計	5,249	5,683

【行政コスト】

(単位：百万円)

区分	令和元年度	令和2年度
政策 13 区民の主体的な区政参画と連携強化	828	841
政策 14 積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進	2,186	24,631
政策 15 目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進	2,783	2,978
行政コスト合計	5,797	28,450

- 「区民の主体的な区政参画と連携強化」では、協働の推進の他に、選挙や議会の運営を行っており、全体の約2割を占める物件費の多くは、区民参画に係る事業に要した経費にあたります。
- 「積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進」では、広報や窓口サービス、事務監査の事業を行っており、日暮里区民事務所の開設により有形固定資産が増加し、特別定額給付金事業の実施により行政コストが大幅に増加しました。
- 「目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進」では、行財政運営や人材育成、公共施設の管理等の事業を行っており、その約2割を業務系システム等の保守や、庁舎の維持管理等に係る委託料にあたる物件費が占めています。

<令和2年度の主な取組>

- 区功労者表彰や世論調査・パブリックコメントに係る事業を引き続き実施しました。
- 全政策・施策・事務事業の評価を実施し、コストを意識した効果的かつ効率的な区政運営を図り、分析・評価結果を公開することで、区の事業の内容や成果について区民への説明責任を果たすとともに、複式簿記・発生主義による新公会計制度を活用し、区政における一層の経営改善及び、区民への説明責任の充実を図りました。また、荒川区職員ビジネスカレッジにおいては、短期間での専門知識の習得を支援する「実務専門課程」、自宅での学習を支援する「通信教育支援コース」など、多様なカリキュラムを引き続き実施しました。さらに、コロナ禍における区民への生活支援のために1人あたり10万円の特別定額給付金を支給したほか、対象を拡大し、基準日（令和2年4月27日）の翌日以降に生まれた新生児に対しても給付金を支給しました。

○広報の分野では、より見やすく分かりやすい区政情報発信を実現するため、ホームページのリニューアルを行うとともに、窓口サービスの分野では区役所に来庁した外国人が、より快適な窓口サービス等を受けられるよう、窓口にタブレット端末を設置し、画面を通じてオペレーターが対面で通訳を行うことにより、迅速かつ的確な行政サービスを提供しました。

<主な成果指標>

指 標	令和2年度	令和3年度 (見込み)	令和8年度 (目標値)
区政に関心がある区民の割合 (%)	56.0	57.0	57.0
ホームページ訪問回数 (月平均) (回)	388,546	396,000	438,000
職員に対する感謝の声の件数(区民 の声) (件)	89	80	100
実質公債費比率 (%)	5%未満	5%未満	5%未満